

広報
1月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集 広報部



富士と初日の出

〈 主 な 内 容 〉

新年のご挨拶	理事長 近藤 勝	2~3	忘年会開催	江墨支部長 松井隆宏	11
	副理事長 清水弘允、松井隆宏	3~4	〃	千代田支部長 近藤正彦	11
	東京返本加工協同組合理事長 工藤裕樹	5	〔組合員紹介〕	千代田支部 近藤正彦	12
第4回 東京協組・関東商組との 合同ゴルフ大会開催	広報部	6	古紙リサイクル・アドバイザー 講習試験の実施		12~13
清風会 研修会と忘年会を開催		6~7	支部スケジュール		13
	広報部副部長 高橋宏明		組合員の広場		
直納部忘年会	直納部副部長 小林健二	7~8	商工中金 上野支店のご紹介		14~15
青年部忘年会	青年部幹事長 梨本竜範	8~9	お知らせ		15~16
業務部長会議開催	広報部	9	「2月会議・催事予定」[代表者変更及び住所変更] 「訃報」「古紙価格」		
支部便り			会議概要〔11月・12月〕		16~23
忘年会開催	城北支部長 辻 忠敏	9~10	編集後記	広報部副部長 脇 克美	23
〃	山手支部長 脇 克美	10	広告		24
〃	文京支部 大柴和男	10~11			

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
理事長 近藤 勝

新年明けましておめでとうございます。皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。又、日頃から組合活動に対し多大なるご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。昨年は東日本大震災を始め大型台風、タイの大洪水など自然災害が多く、歴史的円高や株安も進行、更にヨーロッパ発の世界不況に巻き込まれた大変厳しい一年でした。秋の原紙値上げも一部品種を除き、国内の不況、輸入紙の増加により実施出来ず、特に家庭紙においては震災後、一時的に価格の修正が見られたものの、秋にはその反動と輸入紙攻勢によって逆戻りするという厳しい状況になりました。古紙につきましては被災地メーカーからの振替えて一時混乱はしたものの、底堅い中国

向け輸出に支えられ比較的安定した国内価格で推移しておりました。しかし、10月以降、世界不況の影響で段古紙を中心に輸出価格が下落、パルプも下落中で上物古紙輸出にも影響を与えています。一方、発生は産業系、オフィス系共に前年割れの状況が続いており、一部輸出向けが国内に還流しているものの需給バランスが大きく崩れている訳ではありません。貴重な再生資源価格が維持できるよう要望している所です。

組合活動はお蔭様で事業計画に基づき順調に進行しておりますが、やはり廃業による組合員減少は依然として続いております。年末に開催された組合予算検討委員会では国庫補助事業収入がなくなった現在、賦課金、テナント料の減少、組合会館修繕費等の増加により収支予算の見直しを行いました。今後、共済保険や共同購入事業なども進めてゆく計画です。今年の課題としてまず、組合員増強の為、未加入の方々に是非ともお声掛けをお願いしたいと思います。二つ目には、組合員全員が参加できる勉強会を開催する事、総会や合同新年会等の前の時間を利用して全体会として実施したらどうかと考えております。三つ目には関連業界との交流を更に進める事、昨年から製本組合とお互いがコンペに呼び合うというゴルフ交流が

謹 賀 新 年

始まりました。今年は新たに紙器組合とも交流が始まります。今後もスムーズな取引が出来るよう、そして最後に組合員の皆さんにそれらの情報が充分伝わるよう、広報誌の更なる充実を心がけて行きたいと思えます。本年も何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
副理事長 清水 弘允

新年明けましておめでとうございます。
昨年も色々な事が起こるだろうと予想していましたが、東日本大震災、福島第一原発事故をはじめ、野田内閣の誕生、戦後最高値の円高 75 円 32 銭など、予想を超え多くの事が起こりました。必ずしも悪いニュースばかりではなく、なでしこジャ

パンの優勝、東京スカイツリーの建設は私たちに前向きな希望を与えて呉れました。今年も多くの出来事があると思いますが、同じ組合に参加しているメンバーとして協力しながら乗り越えて行きたいと思えます。

古紙業界の中でも、我々の東京都製紙原料協同組合は産業古紙業者を中心にした組合として認知されています。しかし、考えてみれば全国の古紙業界のなかでも珍しい位置付けだと思えます。

東京と言う日本の中心で、印刷業、出版業がほとんど東京に集中している特殊な、恵まれた環境だからこそ存在しうる業態ではないでしょうか。

大都市以外の古紙業者は、産業古紙だけでは経営が出来ず、回収古紙から他の資源ゴミまで取り扱っている例が多いと思えます。

しかし、その恵まれた環境が次第に変化している事も事実であり、その変化に対応するため、我々の業態も変化していく必要があるのではないのでしょうか。人口の減少、商業活動の低下、電子書籍の出現等で、紙・板紙生産量は漸減となっています。古紙回収率は上限に近付いていますし、古紙利用率の伸びも、それ程はないでしょう。

産業古紙の回収のみを前提にした業態でよいのか。業態研究を今年こそ真剣に考える時ではない

謹 賀 新 年

でしょうか。組合員あつての組合であり、組合員の減少は組合の存続にかかわる事でもあるので、あらゆる可能性を排除せず情報交換、意見交換の出来る年にしたいと思います。

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
副理事長 **松井 隆宏**

新年あけましておめでとうございます。
昨年は忘れることのできない出来事の多い年となりました。けれども古紙業界は、おかげさまで新春を迎えることができました。

今年はどんな年になるのでしょうか？すべてはヨーロッパ次第という話もききます。私は政治や経済はよくわかりませんが、単純な気持ちで意見を言わせていただければ文化も政治も経済力も思想

も、まちまちの国々が同じ貨幣価値の通貨を使用すること自体、矛盾してると思う。おかげで日本経済は円高に苦しんでおります。どうして日銀はもっともっとお金を印刷しないのかなー？そうすれば円安になると思うのですがねー。素人のぐちでした。

さて、我々集荷業も毎年少しずつ変化してると思います。今後どのような道を進んで行くのかな。後継者が張のある業界になりたいですね。もちろん個々の企業努力が第一です。組合として金品の提供は出来ませんが、早い情報の提供と相互扶助の気持ちを高めるよう組合員互いに努力したいものです。

人を蹴落としても自分のはし上がる、それで楽しい人生なのかな？助け合いの精神で組合員全体がレベルアップしたいものです。

本年もよろしく願いいたします。

謹 賀 新 年

年頭のご挨拶



東京返本加工協同組合
理事長 **工藤 裕樹**

新年あけましておめでとうございます。

2012年の新春を迎え、東京都製紙原料協同組合並びに東京返本加工協同組合の組合員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、3月11日発生致しました東日本大震災は私たちが過去に経験をしたことのない大変な出来事であり、原発事故は今日に至っても多くの人々を苦しめ、いまだに収束も不透明であり、早期の震災復興を祈るだけであります。

又、大企業がらみのスキャンダルも一般社会からは想像し得ない出来事であり、政治の世界も理解し難い混迷を続けており、何か閉塞感を覚える1年となってしまいました。そんな中、なでしこジャパンを代表するようなスポーツアスリート達

の活躍は私たちに大きな喜びと希望をもたらせてくれました。

東京返本加工協同組合もお陰様で第47期(平成23年7月1日スタート)の事業年度に入っておりますが、上半期終了時点での実績を見ますと何とか前期の水準を保っており、組合員のご協力を頂きながらの役職員の奮闘が結実していることを感じております。しかしながら、当組合の柱事業である共同販売は海外輸出に於いて円高の影響等をもろに受けている様子です。又、出版販売会社様の取組を見ますと返品率を抑制する施策が木目細かく取られており、扱い量の増加は期待できず、むしろ減少傾向にあることを認識する必要があります。

この様な厳しい現状をしっかりと把握して、業務の見直しや原価意識を常に持ち職務を遂行して行かなければならないと考えております。

東京返本加工協同組合は役職員が一致団結し、組合員並びに出版販売会社様そしてお取引の各社様との連携を強固なものとし、この1年を奮闘させて頂きます。何卒、皆さまのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

謹 賀 新 年

第4回 東京協組・関東商組との 合同ゴルフ大会を開催 広報部

平成23年12月4日(日)晴天の冬空の中、茨城の宍戸ヒルズカントリークラブにて恒例の東京協組・関東商組合同ゴルフコンペが開催された。両組合からの22名の参加者に加え、今回は製本工組から星野理事長以下4名の幹部にも参加していただいた。



宍戸ヒルズカントリークラブは戦略性の高いコースで、グリーンで下りのパットを残したら大変なコースだ。分かっているつもりでも、ついホールを狙ってパットすると、入ればいいが外れたらいつまでも転がっていく感じだ。スリーパット、フォーパットは珍しくない。そんな事もあって腕自慢の皆さんだったがスコア90を誰も切れなかったのは残念だった。

上位争いの常連と共に、ブービー、メーカーの常連の争いもあり、いつもの楽しいゴルフができた。

新ペリア方式で優勝は島田秀彦、準優勝は清水弘允、BBは望月孝、BMは赤染清康でした。

また次回の皆さんの参加をお待ちしています。それまで腕を磨いておいてください。

清風会 研修会と忘年会を開催

広報部副部長 高橋 宏明

昨年、12月5日に上野「東天紅」に於いて、清風会の講演会と忘年会が開催されました。

講演会の講師として、河村たかし名古屋市長の元秘書であり、現在、民主党代議士の田中美絵子先生に講演をお願いしました。



謹 賀 新 年

坂田理事による簡単なプロフィール紹介の後、講演会がはじまりました。

田中美絵子先生は、河村たかし市長と同じ志として、国民生活を第一に、そして、政治活動にはお金を掛けないでと言って頑張られています。また、今話題になっている TPP についてどうして良いのか、悪いのかを例を挙げて解りやすく説明をして頂きました。

また、国民健康保険、雇用問題、消費税などその他に、国会の裏話など色々お話しして下さいました。普段、テレビや新聞などで見たり聞いたりしている話題ですけど、実際に国会議員の先生に解りやすく話をして頂くと自分の頭でも理解が出来ました。有難うございました。

研修会の後、忘年会となりました。廣田理事の司会で、最初に坂田秀一郎会長と近藤勝理事長の挨拶を頂き、乗附孝之様の乾杯で開宴となりました。



美味しい料理にお酒が入るにつれて、参加者一同いつも以上に楽しい時間があっという間に過ぎていきました。最後に、工藤房太郎様の中締めで散会しました。

直納部忘年会を開催

直納部副部長 **小林 健二**

今年の直納部忘年会は12月9日(金)上野・東天紅にて行われました。

年末の忙しい中であつたが直納部員とご来賓で総勢28名が参加しました。来賓には、集荷部を代表して宮崎集荷部長と近藤(昌)副部長にご参加をいただきました。また、9月の直納部海外メーカー工場視察研修のアテンドをしてくださいました丸紅ペーパーリサイクル(株)の村田様もご来賓としてご参加いただき、宴会前に海外の市況についてお話をしてもらいました。

今年も残り僅かになりました。日本では東日本大震災及び福島原発により多くの被害が発生し、日本国中が大混乱になりました。又、ギリシャ・イタリア等によるEU圏の金融不安、さらにタイの洪水被害など暗い2011年となりました。

謹 賀 新 年

2012年は日本だけでなく世界の景気が順調に回復し製紙業界も以前の様な市況になり、我々古紙業界も頑張ってより良い環境になればと願っております。

去年も感じた事ですが、仕事が多忙の為、出席が出来ない直納部の方々が多く淋しい思いをしております。来年の忘年会には多く方が出席されより活気のある美味しいお酒が飲めるのを楽しみにしております。理事会では、なかなか逢う機会が少ない直納部の方々と一緒に飲み、色々な話題で楽しいひと時を過ごせたらと思っております。



青年部忘年会

青年部幹事長 **梨本 竜範**

青年部の忘年会を12月15日(木)に上野の居酒屋「北海道」で行いました。当日の参加者は、当組合の監事をなさっている朝倉様と青年部相談役の坂田様を含む総勢26名という、多くの参加者の中で、最初に坂内部長の挨拶があり、坂田相談役にお話をいただき、朝倉様の乾杯で宴が始まりました。忘年会シーズンの真ただ中だったので、ほかの部屋の団体も騒がしいのかなと思ったら、みんなが盛り上がったのか、声が大きいのかわかりませんが、ほかの部屋の声は聞こえませんでした。

今年、青年部としては印刷産業青年連絡協議会(印青連)に加入し、他にも製本二世会や東資協青年部との交流会をして、皆様の御協力のもとにいろいろな活動ができたと思います。宴会の中でも青年部員から来年の研修旅行の話やゴルフやバーベキューなど、勉強会、交流会、レクリエーションの話題がたくさん出たので、どれだけ出来るかはわかりませんが、可能な限り頑張ろうと思いをしました。

謹 賀 新 年

最後に辻副部長に中締めをして頂き、集合写真を高橋会計監事に撮ってもらい、無事お開きとなりました。当日参加して下さった方、残念ながら参加できなかった方、これからも、組合青年部を盛り上げていきましょう。平成24年も宜しくお願いします。



業務部長会議の開催

広報部

平成23年11月30日(水)

出席者：10名(正副理事長、業務部長、他)

議題：平成24年度の組合予算の修正について
来年度不足すると予想される組合員脱退による賦課金の減少(10名が脱退したとして年間40万円の減少)とテナント家賃収入(1年間入居なしの場合120万円)の不足を補う金額を捻出する為、11月30日に正副理事長、業務部長とが集まり業務部長会議を開催した。会議では業務部を

中心とした予算の削減案と増収案に事務局の削減案を合計して、約156万円の捻出結果が出た。

支部便り

城北支部 忘年会開催

城北支部長 辻 忠敏

城北支部忘年会を12月10日(土曜日)に池袋西口にある日本料理 月亭にて行いました。

年々参加者が減少していますが、支部員13名が集まり、1年で一番豪華な国産和牛すき焼きをいただきました。



綺麗な仲居さんによっていただくすき焼きは、セルフで作るよりおいしくいただけただけなのではないでしょうか?皆の会話も進んでいたようで、2時間の宴もあっという間に過ぎました。偶然にも今夜は皆既月食があるとの事ですが、月亭で月見とう

謹 賀 新 年

まい具合にはいきませんでした。
余談ですが、城北青年部は二次会会場でウサギ？
と皆既月食を見たそうです。

山手支部 忘年会開催

山手支部長 脇 克美

去る12月17日(土)「鮪やなぎ」にて、山手支部の忘年会が開催されました。

当日は、ご来賓として近藤理事長、清水、松井両副理事長、夏目専務理事、文京支部の山田支部長、大柴氏6名と、山手支部のメンバー11名が参加していただきました。脇支部長の挨拶の後、近藤理事長からご挨拶を頂き、長井理事により乾杯のご発声を頂きました。コンパニオンも加わり多めに盛り上がりました。

締めは宮崎理事にして頂き、最後に大柴氏に恒例の記念写真を撮って頂き散会となりました。



文京支部 忘年会開催

文京支部 大柴 和男

文京支部忘年会を12月8日(木)池袋のサンシャイン60の59階 天空の庭 星のなる木で開催いたしました。今回の忘年会の幹事は大柴です。山田支部長の挨拶、近藤理事長、松井副理事長のご挨拶、高山台東支部長の乾杯のご発声にて宴会に入りました。今回の忘年会のお客様は、近藤理事長「美濃紙業(株)」、松井副理事長「(株)松井紙業」、高山台東支部長「(有)北信紙業」、脇山手支部長「(株)脇商店」、辻城北支部長「(株)辻商店」、小川重子様「大同生命保険(株)」、近藤靖俊様と宮内亮一様「あいおいニッセイ同和損保代理店(株)ウィル・プロモート」、当組合の事務局長夏目茂様、今回初参加の文京支部員辻三郎商店の辻勝恭様、全員23名とリバーアップより4名に参加していただきました。



謹 賀 新 年

料理は本物の技術に裏づけられた和食の星のなる木流に表現した料理と古き良き和の味を表現した本格の会席をいただき、酒を飲み、肴を食べ、恒例のビンゴゲームでは、事務局長の夏目様が一等の大当たりでした。二等は高山様を含めた2名でした。2時間半の飲み放題は、あっという間に過ぎ、中締めには人見一男副支部長「東日紙商(株)」をお願いいたしました。集合写真を撮って、手におみやげを持って帰路につきました。皆様のおかげで大変楽しい忘年会が開催でき、ありがとうございました。

江墨支部 忘年会開催

江墨支部長 **松井 隆宏**

12月20日(火)に吉野寿司で忘年会を行いました。例年通り青年部も参加して総勢19名、コンパニオン5名で賑やかな2時間を過ごしました。

今年は埜島氏のご逝去があり残念な年でしたが後継者の木内さんに幹事をお願いし、楽しい忘年会となりました。

江墨支部は、ほとんど古紙回収の他に行政回収をしています。やはり本職である古紙の市況は皆、気になるところです。来年も組合本部より古紙の状況をいち早く流して頂けたらと思います。

最後に相互扶助、個々の体調管理を確認し忘年会をお開きと致しました。



千代田支部 忘年会開催

千代田支部長 **近藤 正彦**

去る12月13日(火)千代田支部の忘年会を、13名の全員参加で神田神保町「新世界菜館」で盛大に行いました。支部対抗運動会や野球大会等の昔話もとび出し、楽しく賑やかに2時間を過ごし新年会での再会を約し解散しました。



謹 賀 新 年

組合員紹介

[千代田支部]

有限会社 近藤商店

コンドウ マサヒコ
近藤 正彦



役 職 : 代表取締役
 年 齢 : 73歳
 血液型 : A型
 体 型 : 小柄
 業界歴 : 54年
 何代目 : 創業者
 他業界歴 : ナシ
 趣 味 : ゴルフ、野球
 特 技 : ダジャレ
 取得免許 : 普通自動車運転免許、自動二輪
 好きなスポーツ : 野球
 // 俳 優 : 若尾 文子
 // 歌 手 : 北島 三郎
 // 学 科 : 特別社会学科

飲 酒 : 飲む(焼酎)

タバコ : 吸わない

自分の性格 : 情にもろい、世話好き、涙もろい
 明るい、せっかち、短気

古紙業界に入って思う事

大切にしている事 : 友人関係

♪ことわざミニ知識♪

「身(み)から出た錆(さび)」

自分の行為の報いとして災禍をこうむること。

自分の悪行が元で、結果として苦しむこと。

仏教経典の「錆は鉄より生ずれど、その鉄を傷つけるが如く、穢れ(けがれ)ある人は己の業により悪処に導かれん」から出た言葉。

仏教の教えにしては、厳しい教えに感じる。

そう言えば「自業自得」「因果応報」など仏教の根本の教えは、突き放した厳しさがある。

古紙リサイクル・アドバイザー 講習試験の実施

現在、古紙リサイクル・アドバイザーの資格も持たれている方を対象とした講習試験を実施致します。

謹 賀 新 年

日程**第1回 平成24年1月26日(木)**

講習 (pm6:10~) 試験 (pm7:25~)

神田ホール・エッサム

*第1回は終了しました

第2回 平成24年2月21日(火)

講習 (pm6:10~) 試験 (pm7:25~)

神田ホール・エッサム

新規で希望の方も、事前に資格申請をして試験を受ける事ができます。詳しくは組合事務局までお問い合わせください。

支部スケジュール**千代田支部**

支部会 2月 6日(月) 菜の花

中央支部

支部会 2月18日(土) 鳥松

支部会 3月17日(土) きくち

文京支部

支部会 2月 8日(水) 地球飯店

支部会 3月 8日(木) 寿し常本店

台東支部

支部会 3月 開催日は未定 組合会議室

荒川支部

支部会 3月12日(月) 4丁目町会事務所

足立支部

新年会 2月18日(土) 北千住

山手支部

支部会 2月18日(土) 鮎やなぎ

支部会 3月19日(月) 鮎やなぎ

総 会 4月21日(土) 鮎やなぎ

城南支部

新年会旅行 2月4日(土)~5日(日)

石和温泉

江墨支部

新年会 2月20日(月) 吉野すし

支部会 3月19日(月) 吉野すし

城北支部

支部会 2月10日(金) 場所未定

支部会 3月 9日(金) 場所未定

謹 賀 新 年

組合員の広場

商工中金 上野支店のご紹介

商工中金の成長戦略総合支援プログラムの紹介

商工中金では、平成22年7月、社会経済情勢の変化により成長力の低下を余儀なくされていて、今後、成長戦略分野での成長を目指す中小企業等の皆さまをサポートする「成長戦略総合支援プログラム」を創設しました。

当初、「3年間で2,000億円」という目標を掲げ、成長を目指す中小企業等の皆さまのニーズに積極的にお応えした結果、平成23年9月までの約

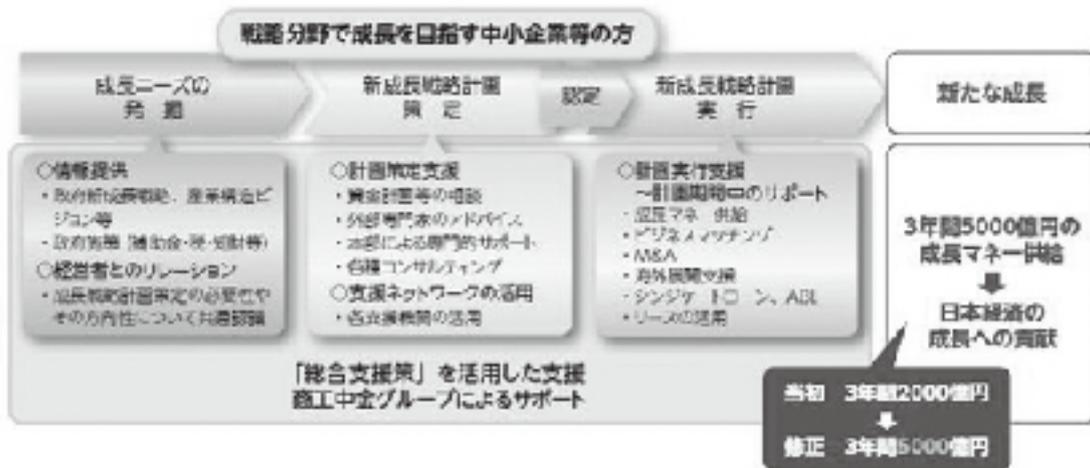
14カ月間で目標を達成することができました。引き続き、同プログラムを活用することで中小企業等の皆さまの持続的な成長をサポートするとともに、日本経済の成長に貢献するため、目標を「3年間で5,000億円」に上方修正しました。

■ 成長戦略総合支援プログラムの概要

① 新成長戦略計画の策定を支援

- ・ 構想段階において、情報提供やお客さまとのリレーションを図りながら、成長戦略計画策定の必要性やその基本的方向性について共通の認識を醸成していきます。

- ・ 具体的な計画策定段階において、資金計画など金融面でのご相談のほか、本部ソリューション、



謹 賀 新 年

各種コンサルティングによるサポートを行いながら、お客さまの立場に立った計画策定をサポートします。

②計画認定

- ・お客さまが策定し、商工中金にご提出いただいた計画について、「成長戦略企業認定委員会」等にて「新成長戦略計画」として認定を行います。

③計画実行支援～3年間で5000億円の成長マネーを供給、実効性を高めるためのソリューションを提供

- ・「新成長戦略計画」を実施するうえで必要となる資金について、商工中金が新たに創設した低利融資制度等により金融面のサポートを行います。
- ・計画の実効性を高めるため、ビジネスマッチング、M&A、海外展開支援など、さまざまなソリューションを提供します。

お 知 息 せ

〔2月会議・催事予定〕

2月 1日(水)返本加工協同組合新年会
(pm 6:00～)
上野・東天紅「ルーキス」

2月 3日(金)富士貨協 荷主懇談会
講演会 (pm 4:00～) 懇談会 (pm 5:00～)
ホテルグランド富士

2月 4日(土)東資協新年会
懇親会 (pm 5:00)
お茶の水ガーデンパレス

2月 6日(月)共販輸出検討委員会
(pm 2:00～)
常任理事会 (pm 2:30～)
理事会 (pm 4:00～) 組合会議室

2月10日(金)東印工 「組合員のつどい」
講演会 (pm 5:00～)
懇親会 (pm 6:30～)
パレスホテル立川

2月21日(火)関東商組シンポジウム
「5年後の古紙業界を考える」
(pm 3:00～)
懇親会 (pm 5:00～)
ホテル・ラングウッド
古紙リサイクル・アドバイザー試験②
講習 (pm 6:10～)
テスト (pm 7:25～)
神田ホール・エッサム

2月23日(木)古紙センター関東地区委員会
(pm 2:00～) センター会議室

2月24日(金)古紙センター業務委員会
(pm 1:30～) センター会議室
全原連役員会 (pm 2:45)
センター会議室

謹 賀 新 年

【代表者変更及び住所変更】

千代田支部：(株) 起多邑 代表者 工藤房太郎
→ 新代表 工藤 充彦 (代表取締役社長)

江墨支部：(株) 墨田リバーズ 代表者 埜島昌利
→ 新代表者 木内 茂樹

新住所：墨田区京島 2-11-6

電話・FAX 03-3611-5379

【訃報】

江墨支部：(株) 墨田リバーズ 会長 (代表者)
埜島 昌利 様 (享年 71) が平成 23 年 11 月 1
日 (火) にご逝去されました。

城南支部：新井紙材 (株) 代表者、新井重雄様
のご尊父 新井 清 様 (享年 85) が平成 23 年
11 月 29 日 (火) にご逝去されました。

古紙価格**【東資協の古紙 4 品の標準売値】**

平成 23 年 12 月 8 日現在

新聞	9 円～ 11 円 (横ばい)
雑誌	7 円～ 9 円 (横ばい)
段ボール	9 円～ 11 円 (横ばい)
色上 (並)	7 円～ 9 円 (横ばい)

【古紙品質調査事業】 平成 23 年 10 月～ 12 月価格

[新聞 古紙] 16,000 円/トン

[段ボール 古紙] 18,000 円/トン

会議概要 [11月・12月]**1 1 月度定例理事会**

[平成 23 年 11 月 4 日 (金)] pm 4:00

出席理事 24 名・監事 0 名 (於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

先月は清風会や製本工組とのゴルフコンペ、日中古紙セミナー、静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会と大変多くの行事が続きました。松井副理事長が理事長を務める江東リサイクル協同組合の創立 15 周年の祝賀会にも参加しました。先月、中国の国慶節後から主要 3 品の輸出価格が下落しております。上物古紙についてもパルプの世界的な下落から同じ様な状況になってきておりますが、先月開催された古紙センターの業務委員会の中では「目先に捉われず国内市況を安定させたい」と言う力強い意見も出ておりました。本日は直納部長がおりませんが、直納副部長を中心に市況交換や報告事項について会議をすすめていきたいと思っております。

謹 賀 新 年

【各部報告】**【総務部】**

組合会館2階と1階で雨漏りがあったため修繕を予定している。期間は11月18日(金)から27日(日)までで予算は53万程度。この機会に各業務部の予算について調整のための検討をしたい。(業務部長会議を開催予定)

【直納部】

11月度の共販輸出は、2社が入札に参加し1社が辞退。入札価格結果は、前月に比べ60銭安で(株)ジーオーピーが落札となりました。仕向地はフィリピン、韓国、中国で、市況は、昨今続いている全体的な紙製品の荷動きの悪さや、パルプ価格の相変わらずの下落による Deink Grade の需要が悪いです。為替も多大な影響を及ぼしています。市況全般は輸出が下落。関東商組の共販輸出では値が付かず11月の輸出は取り止めとなりました。

【品目別市況】

【家庭紙】 家庭紙メーカーは活気がない。生産を止めて調整している。製品在庫は増えてきている。生産した分は消費しているが、在庫が減るほどは出ていないのが現状である。低い生産と低い消費とが続いている。古紙原料の発生は悪いが、各メーカーの古紙原料の在庫は足りている状態でタイト感はない。生産が増えていかないと製品価格が上がっていかないのではないと思われる。輸入品が増えてきており再生紙が中国から入ってきている。

【台紙】 変化なし。

【オフィス古紙】 ゴミの量が減っている。紙の量も減っている。11月～12月は発生期だが、ゆるやかに下がっている。

【返本】 変化なし。

【集荷部】

発生が少なく荷が集まらなくなっている。厳しい

状況になっている。10月は発生時期であるが、以前のような動きはない。

【広報部】

広報誌の11月号は、「時の視点」を直納部から見た市況について掲載予定。先日行われた静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会、東資協との懇談会を掲載。先月に行われた海外メーカー工場視察研修のレポートの掲載。他に「組合員紹介」や各支部からの支部会日程等を掲載する予定である。総合名簿は、11月下旬に広報11月号と同封で各組合員へ送付する予定である。

【事業部】

合同新年会を平成24年1月21日(土)に上野・精養軒で行う。アトラクションに日本舞踊。例年通りカラオケを実施予定。組合の事業として自動車共済保険になるべく多くの組合員が加入してくれるようお願いする。

【青年部】

10月14日(金)に製本二世連合会との交流会を行った。10月22日に印青連のサミットに参加した。11月24日に東資協との交流会を予定している。

【近代化推進委員会】

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの更新テストを11月から来年の2月の間で行う。11月中にテストマニュアルと講習用のDVD(約1時間)、テストが出来る予定。準備が整った時点で試験日を決め案内を出す予定。

【その他】

①脱退者について 荒川支部：(有)藤井忠勝商店(代表 藤井 潔)が廃業のため平成23年10月31日付で脱退。

承認—可決

②組合員の減少で賦課金が減り組合の資金も減少している。以前のような予算表が作れなくなっている。以前のような予算表が作れなくなっている。以前のような予算表が作れなくなっている。以前のような予算表が作れなくなっている。

案を検討したい。11月30日(水)に業務部長会議を開催し予算について話し合いを行う予定。

古紙センター関東地区委員会

[平成23年11月24日(水)] pm 2:00～
於) 古紙センター会議室

[需要動向] 11 / 10月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の() は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	68,519(100.0%)
	出荷	71,352(105.0%)
	在庫	10,474(140.4%)
[雑誌]	仕入	54,568(107.1%)
	出荷	55,443(106.0%)
	在庫	7,159(12.9%)
[段ボール]	仕入	134,476(103.9%)
	出荷	136,693(105.2%)
	在庫	10,722(7.8%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	204,626(89.3%)
	消費	188,615(80.7%)
	在庫	146,029(77.4%)
[雑誌]	入荷	116,197(94.7%)
	消費	114,691(92.2%)
	在庫	58,145(50.7%)
[段ボール]	入荷	310,627(106.4%)
	消費	316,619(101.2%)
	在庫	81,940(25.9%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・雑誌]

新聞のページ数は、本文は安定している。チラシが若干、減少しているが、本文との合計では前年とほぼ同じ数量ベースである。新聞の発生が9月に比べ10月は減少してきている。雑誌の発生は

11月が減少傾向になるのではないかとと思われる。

輸出は、下げ止まったのではないかとと思われる。

[上物古紙]

家庭紙の発生は少ない基調で推移しており、本来なら発生期であるが前年と比べると少ない。オフィス古紙に関しては、輸出価格が下がった影響でやや余剰感がある。メーカーの生産している所と減産している所がマチマチである。家庭紙製品の価格修正については、製品そのものの需給調整が出来ていない点、小売店が在庫管理を強化している点、輸入紙が増加してきている点、歳末にかけての特売の協力要請がきている点等から価格修正の期待が持てない。家庭紙向けの在庫は前月比で増、DIP向けで前月比減となっている。

[メーカー側コメント]

新聞は夏場に比べると入荷はまずまずの状況。メーカー在庫は9～10月は回復してきている。段ボールの生産については9月、10月とも前年とほぼ同じ状況で仮需の動きは出ていない。段ボール古紙は10月は未納があり各社の在庫が減少したが11月は入荷が良くなってきた。

古紙センター業務委員会

[平成23年11月28日(月)] pm1:30
於) 古紙センター会議室

- [1] 集団回収実施団体への感謝状交付について
(関東地区委員会、近畿地区委員会推薦)
- [2] 平成24年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

*古紙の需要・市況動向はページ数の都合で割愛させていただきます。

全原連 平成23年度 第6回役員会

[平成23年11月28日(月)] pm3:00

於) 古紙センター会議室

理事・監事64名:出席64名

(内、委任出席35名)欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会 (11月28日開催)

①平成24年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

段ボール:

平成23年10月～12月実績・見直計画

2,007,359 t (前年比103.4%)

平成24年1月～3月見直計画

1,784,616 t (前年比100.4%)

平成24年4月～6月計画

1,896,580 t (前年比101.1%)

新聞:

平成23年10月～12月実績・見直計画

936,802 t (前年比94.4%)

平成24年1月～3月見直計画

933,270 t (前年比100.0%)

平成24年4月～6月計画

938,382 t (前年比109.8%)

雑誌:

平成23年10月～12月実績・見直計画

564,500 t (前年比98.4%)

平成24年1月～3月見直計画

516,494 t (前年比101.3%)

平成24年4月～6月計画

555,109 t (前年比92.6%)

②集団回収実施団体への感謝状交付について

・推薦地区委員会:関東地区委員会、近畿地区委員会

・推薦団体:8団体(関東地区5団体、近畿地区3団体)11月28日業務委員会承認

③千葉県紙リサイクル意見交換会について

・日時:11月1日(火)13:30～16:00

・会場:千葉市ビジネス支援センター

・参加者:自治体(千葉県内)、経済産業省、環境省、製紙メーカー、関東商組、

日資連、千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会、全国牛乳容器環境協議会

・講演:「古紙排出時の留意点」、「製紙工場における古紙の品質問題」、「白板紙生産における原料古紙、古紙の分別・禁忌品除去の必要性、古紙の品質向上」

・調査報告:「雑誌、雑がみ組成分析調査結果」

④紙リサイクルコンテストについて

・全国小中学生「紙リサイクルコンテスト」金賞受賞者表彰

日時:12月17日(土)表彰式12:00～12:30、

懇親パーティー12:35～13:30

場所:ホテルグランドパレス3階「松の間」

(東京都千代田区飯田橋1-1-1)

*公益財団法人古紙再生促進センターより奮って参加頂きたくお願い致します。

⑤今後の日程について

平成24年1月10日(火)新年互礼会

(ホテルグランドパレス/九段)

平成24年1月30日(月)13:30～14:30

第8回業務委員会(センター会議室)

平成24年2月24日(金)13:30～14:30

第9回業務委員会(センター会議室)

平成24年3月16日(金)14:15～15:15

第10回業務委員会(センター会議室)

(2) 経済産業省 関係

①第1回紙リサイクルシステムの強化に関する調査委員会について

・日時:11月17日(木)15:30～17:30

・場所:銀座会議室

- ・参加：学識経験者、自治体、製紙メーカー、全原連、日資連、古紙センター、商社
- ・委員会の設置目的：「古紙市場安定化に関する調査」を踏まえ、自治体の古紙施策の実態を把握しつつ、古紙需給緩和時や市況の過度な変動への対応策を検討する」

②第2回古紙市場安定化検討委員会について

- ・日時：11月21日（月）13:30～14:45
- ・議事要旨：
 - 経済産業省による「古紙市場安定化に関する調査報告書」（矢野経済研究所）による中国・東南アジア輸出予測をベースとする
 - 中国向けの輸出が定期的に停滞する時期（3回）がある
 - 中国の輸入量は9月までは伸びており、このままいけば150万t増になる
 - 中国の回収量がどの程度になるか、紙・板紙の生産量はデータ通りなのかなどを見極める必要がある

(3) 全原連 関係

◎審議事項

- ①役員選出に係る役員候補者数の決定及び選考委員の選出依頼について
 - ・単組別役員（理事・監事）候補者数の決定（現在：理事62名、監事2名）
 - ・選考委員の選出依頼（24年2月10日までに「選考委員候補者届出書」を理事長まで提出のこと）
- ②「古紙商品化適格事業所」「古紙リサイクルアドバイザー」認定について・承認
 - ・古紙商品化適格事業所：11月15日
（1社2事業所）累計（399社775事業所）
 - ・リサイクルアドバイザー：11月15日
（4社19名）累計（437社1,845名）
- ③古紙リサイクルアドバイザー認定試験実施マニュアルについて

- ・認定試験実施概要（案）、受験者用案内（案）、試験実施立会人マニュアル（案）

- ・各単組で上記について意見等ありましたら全原連事務局まで連絡下さい

④第3回中国を対象とした古紙回収システム研修会（日本製紙連合会）について

- ・日時：2012年12月12日（月）～16日（金）
- ・場所：財団法人海外技術者研修協会（東京研修センター）
- ・講義：12月13日（火）「古紙直納問屋の歴史と現状」について栗原全原連理事長が講演します

⑤月刊誌「物価資料」への市況に関する情報提供について

- ・自治体が契約予定価格を積算する際に利用している市販の月刊誌「物価資料」に市況に関する情報を定期的に提供する。これによって各自治体に周知し、契約予定価格の決定に際して参考にしてもらう。

(4) 委員会報告

●経営革新委員会（11月17日開催）

- ・「日本古紙品質認定制度（J－BRAND）」関東地区委員会で24年1月実施スタート
- ・「5年後の古紙業界シンポジウム」への参加要請
日時：平成24年2月21日（火）15:00～17:00
場所：ホテルラングウッド
（東京都荒川区東日暮里5-50-5）

*各地区の若手経営者の参加を是非お願い致します。

●需給委員会

- ・適正仕入価格（適正コスト）標準指標（原価構成比）について再度検討する
- ・関東商組11月度積古紙輸出については諸般の事情により中止する

●IT推進委員会（11月16日開催）

- ・11月16～17日四国商組（高知市）開催

- ・東芝情報機器と共通ソフトの拡充について検討する
- ・製紙原料卸システムの納入実績（86社285カ所）、本年度導入見込（10社54カ所）
- 渉外広報委員会
- ・エコプロダクツ2011、古紙再生促進センター出展しませんので全原連も出展なし
- (5) その他
- BIR ミュンヘン会議(10月23日～25日開催)
- ・参加者：大久保信隆（株）大久保、塩瀬宣行（大和紙料株）、大津正樹（株）紙資源
- 容り法改正に係る意見交換会(10月31日開催)
- ・2013年4月改正法施行予定による容り法の概要について再検討をする。
- 第3回古紙持ち去り問題意見交換会（11月15日開催）
- ・関東商組ではポスターを作成し組合員に配布
- ・ライセンス制度について具体的に検討（認定制度の活用の仕方等）
- ・日資連、東リ協が関東商組が作成したポスターを名称の部分を変えて使用する件について検討（使用条件として著作権は当組合にあることから使用団体名のほか関東商組名を入れること）

12月度定例理事会

[平成23年12月5日(月)] pm 3:30

出席理事30名・監事1名 於) 上野・東天紅

近藤理事長挨拶

本年は東日本大震災から始まり、原子力発電所の事故、大型台風など多くの災害に見舞われた年でありました。然しながら、古紙に関して言えば底堅い中国輸出に支えられ、国内価格は比較的安定して推移しました。しかし、10月以降ヨーロッパ発の世界不況が中国にも影響し、段古紙中心に値下げが進んでいます。パルプの国際市況も下落

しており家庭紙メーカーも製品値上げの出来ない厳しい状況となっております。既に西日本では家庭紙原料が下げとなっているようですが、来春、どのような形に進行するのか組合としても情報交換を密にして対応して行きたいと思っております。本日はこの後、清風会が開催されます。長時間になりますが最後まで宜しくお願い致します。

[各部報告]

[総務部]

テナント3階の小柳工業(株)が賃貸借契約を11月2日に現状家賃で更新。2階(株)研立は平成23年12月末にて賃貸借契約を解除予定。組合会館の4階、3階、2階のベランダと1階の駐車場側の壁の修繕を行い11月30日に終了した。

[直納部]

12月度の共販輸出は、3社が入札に参加しました。入札の結果は、前月に比べ1円20銭安で(株)ジェーオーピーが落札となりました。尚、落札価格が国内価格より下回っているため組合で助成金として1円の補填を致します。仕向地はフィリピン、韓国、中国で、市況の冷え込みは引続きで前月よりも多少、為替が円安なのが唯一の救い。関東商組の共販輸出は11月は中止となったが、12月の輸出は半分ほどの輸出業者が辞退の中、実施されました。今年の年末は国内メーカー、輸出とも例年より早く終わってしまう所が多い。中国は国慶節が例年より早く1月23日から始まる関係で、輸出も1月10日頃で終わってしまう。国内の家庭紙メーカーは製品価格の修正に期待が持てず在庫もかかえており、年末にかけては小売店の特売が多くなり、大変厳しい状態になっている。古紙の市況は年末から年始にかけ不透明感が残る予想であると思われる。

[集荷部]

古紙原料価格が下げ止まってきているので、この

まま維持されるよう期待したい。発生は10月の終わりあたりから増えてきている。

[広報部]

広報誌の11月号は組合総合名簿と一緒に11月下旬に各組合員へ届いたと思う。新年号は1月の終わりに送付予定である。

新年号の内容は「時の視点」で正副理事長の年頭の挨拶、ゴルフ（清風会、関東商組との対抗戦）、直納部・青年部の忘年会、各支部開催の忘年会、組合の予算案、古紙リサイクルアドバイザーの講習試験案内等を掲載予定である。原稿を期日までに提出するようお願いしたい。

[事業部]

合同新年会を平成24年1月21日（土）に上野・精養軒で開催する。アトラクションに江墨支部から日本舞踊を披露し、カラオケ大会を実施予定。司会は足立支部の赤松支部長、閉会の挨拶は荒川支部の藤井支部長が行う。会費を組合予算の関係で、今回より2,000円アップして7,000円とするので支部長は組合員へ連絡してほしい。組合の収入増加を考え、事業として自動車共済保険になるべく多くの組合員が加入してくれるよう引き続きお願いする。

[青年部]

青年部の忘年会を12月15日（木）に上野で開催する予定。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの講習試験を1月26日（木）と2月21日（火）の午後6時10分から、エッサム神田の貸しホールで実施する。内容は講習（DVDを使用）1時間とテストが1時間。費用は2000円で試験当日の立ち合い人は高山総務部長と上田総務副部長と事務局2名の予定。

[その他]

・平成24年度の組合予算の修正について：

来年度不足すると予想される組合員脱退による賦課金の減少とテナント家賃収入（1年間入居なしの場合を想定）の不足を補う金額を捻出する為、11月30日に正副理事長、業務部長とが集まり業務部長会議を開催した。会議では業務部を中心とした予算の削減案と増収案に事務局の削減案を合計して、約156万円の捻出結果が出た。その内容を理事会で説明して理事の承認を得た。

古紙センター関東地区委員会

[平成23年12月19日（月）] pm 2:00～
於）古紙センター会議室

[需要動向] 11 / 11月 単位トン、
（ ）は対前年同月比、在庫の（ ）は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	68,353(97.9%)
	出荷	67,638(98.7%)
	在庫	11,189(16.5%)
[雑誌]	仕入	50,691(104.2%)
	出荷	51,250(105.2%)
	在庫	6,600(12.9%)
[段ボール]	仕入	126,777(99.4%)
	出荷	126,814(99.7%)
	在庫	10,685(8.4%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	211,109(88.9%)
	消費	193,001(86.0%)
	在庫	160,213(83.0%)
[雑誌]	入荷	122,353(95.4%)
	消費	113,462(94.6%)
	在庫	55,146(48.6%)
[段ボール]	入荷	325,757(114.7%)
	消費	308,086(105.7%)
	在庫	99,611(32.3%)

【業者側コメント】**【新聞・雑誌・段ボール】**

11月の新聞の発生は若干、減少傾向で消費と在庫は変化がない。新聞の12月の発生は前年をやや上回ると思われる。

雑誌の12月の発生は、前年に比べ5～10%程度減少するのではないかと思われる。輸出は、下げ止まったのではないかと思われる。

段ボールの11月の発生は前年を若干、下回る。

12月も前年を切るのではないかと思われる。

【上物古紙】

産業古紙の発生は少ない。カレンダーや手帳類は11月で終わっており、前年より若干、少ない状況である。東北では本が売れているが他の地区では前年並みである。家庭紙は需要期なのにメーカーには在庫がある状態。古紙業者の11月の在庫状況は家庭紙向けとDIP向けと共に前月より減少している。

【メーカー側コメント】

新聞の発注、消費とも横ばい状態。メーカーの新聞古紙の原料在庫は年末にかけて積み上がっており前年並みで落ちついている。

段ボールの入荷、消費は前年とほぼ同じで横ばい。段ボール古紙の11月、12月は前年と同じような発注で入荷は予定通りである。年末までの在庫は消費より多めの発注で年末在庫を確保している。

編集後記

広報部副部長 **脇 克美**

新年明けましておめでとうございます。今年も「広報」が皆様のお役に立てますよう努力してまいります。

昨年3月に東日本大震災が発生し約2万人の方々が亡くなったり、行方不明となり、福島第一原発事故で深刻な被害を被り、復旧作業は現在でも難航し農産物にも放射能汚染や風評による被害が広がっています。9月には大型台風が相次いで上陸し紀伊半島を中心に記録的被害が広がりました。しかし明るいニュースもいくつかありました。広報でも度々取り上げた「スカイツリー」が634mに到達し、世界一高い塔となりました。夏にはサッカー「なでしこジャパン」が見事な試合ぶりで金メダルを獲得し、日本中が歓びに湧きました。

さて今年は何の様な年になるのでしょうか。干支でいえば今年辰年ですが、ネットを見てみると「正義感と信用」というのが今年の特徴のようです。まるで今の日本の状況とは裏腹のようですが、辰（龍）は十二支で唯一の想像上の動物です。中国の神話で竜は神獣とされているため、中国では皇帝のシンボルとなっています。竜にまつわる言葉として

逆鱗にふれる：（目上の人）触れてはならないものに触れ、相手を怒らせること。

竜頭蛇尾：初めは勢いが盛んであるが、終わりは振るわないこと。

登竜門：鯉が滝を登って竜になったとゆう古代中国の故事から、立身出世の関門のこと。鯉のぼりの由来にもなった・・・等があるようです。

昨年、災害に被災された方々の一日も早い復興を願うとともに、組合員の皆様にも「正義感と信用」を大切にして良い一年でありますよう祈っております。